

## 平成25年度農村女性のつどい開催される

平成26年1月15日、佐久農村女性団体連携会議主催による農村女性のつどいが開催されました。連携会議を組織する団体のメンバー他、佐久管内の農村女性およそ180名が参加しました。各団体から5つの活動事例の発表、講演会、また、ジャズダンス、健康体操などが披露されました。

まず、オープニングセレモニーとして、JA佐久浅間女性会のサークル4名によるジャズダンスがステージで発表されました。その後、各団体より、農村女性チャレンジプランの実践活動としての事例発表を行いました。

JA佐久浅間女性会では、食の安心・安全をすすめる会による研修会や学習会のようにすを寸劇で、農村生活マイスター協会では、立科町のマイスターたちが行った山野草を利用したエコ活動での食育として、山野草の利用方法や料理方法が紹介されました。

ヤツレン酪農協議会女性部では、毎年行われているヤツレン感謝祭の盛大なようすと女性部としての取組みが発表されました。女性農業委員の会佐久支部では、佐久市の女性委員による農業祭でのお米のPR活動として、男性を巻き込んだ品種別のおにぎりづくりと提供のようすが紹介されました。また、支部長より、農業委員の仕事についての説明と、要請されたら是非、女性農業委員になってほしい旨の話がありました。

農村女性ネットワーク佐久平からは、小諸市の女性による農業経営を研修生へ継承した事例が発表されました。



オープニングセレモニー：JA女性会 東ジャズG  
ダンスサークルによるジャズダンス



JA女性会による活動事例発表  
食の安全・安心をすすめる会による寸劇



ヤツレン酪農協議会女性部  
「感謝祭」の様子、取組について発表



ネットワークこもろ 高橋時子さん  
農業経営を里親研修生へ引継いだ事例を発表

昼食休憩時には、12のグループ及び個人より農産加工品、手作り手芸品の展示販売が行われました。

午後は、JAのサークルである“高瀬ストレッチ会”より、健康体操がステージで行われ、会場の参加者も皆で、「りんごの唄」と「花は咲く」の音楽に合わせて、歌を歌いながら身体を動かしました。(皆、心身のリフレッシュが図られて良かったと言っていました。)

続く講演会は、「Iターンで有機農業 新規就農者の生き残り術」と題して、佐久穂町にIターンし、有機農業を実践している萩原紀行氏から有機農業の実践理論から今後の経営について、また、研修生を受入れ、新規就農者を育成していることが紹介されました。

農業後継者不足に悩んでいる農村が多い中、都会から農業を目指して、移住し、頑張っている姿に、大変感動し、うれしく思ったという感想が聞かれました。

一日通したイベントで、管内のいろいろな活動のようすを知ることができ、また、体操で心身のリフレッシュが図られ、講演も新鮮で、元気をもらえたという感想が多く聞かれました。



高瀬ストレッチ会の指導による健康体操「りんごの唄」「花は咲く」



のらくら農場：萩原紀行氏による講演「Iターンで有機農業 新規就農者の生き残り術」